

『研修の充実に向けた取組』

～共生社会の実現に向けた
インクルーシブ教育システムの構築を目指して～



和歌山県教育センター学びの丘
研修課 田端 桂



共生社会の形成

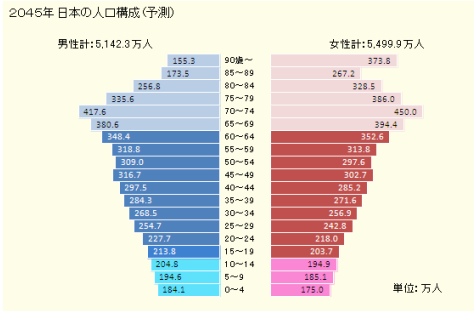
インクルーシブ教育システムの構築

特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する**全ての学校**において実施される

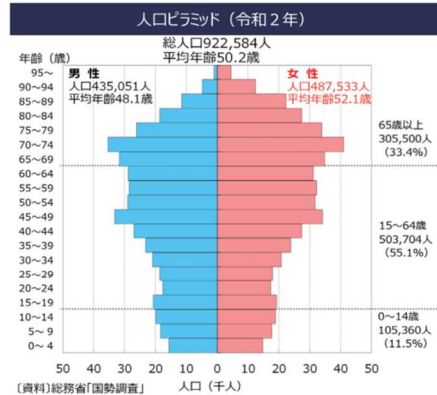
(参考：NISE学びラボ「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」)

① 我が国の動向と本県の現状



(参考: jp.gdfreak.com)

和歌山県の人口
87.6万人 (R7現在)



和歌山県の人口分布 (R2)
(参考: 和歌山県HP)

① 我が国の動向と本県の現状

幼児児童生徒数・教職員数

令和6年5月1日

区分		公立		国立	合計
		県立	市町村立		
幼稚園等	幼児数	-	1,263	-	1,263
	教職員数	-	422	-	422
小学校	児童数	-	40,217	394	40,611
	教職員数	-	4,141	29	4,170
	生徒数	961	19,115	419	20,495
中学校	教職員数	61	2,197	23	2,281
	児童数 (前期課程)	-	552	-	552
	生徒数 (後期課程)	-	215	-	215
義務教育学校	教職員数	-	51	-	51
	全日制 生徒数	16,629	757	-	17,386
	教職員数	1,731	69	-	1,800
高等学校	定時制 生徒数	597	20	-	617
	教職員数	151	18	-	169
	通信制 生徒数	1,487	-	-	1,487
	教職員数	43	-	-	43
	特別支援学校 幼児児童生徒数	1,651	-	55	1,706
特別支援学校 教職員数	1,117	-	32	1,149	

※市町村立には組合立含む。
※幼稚園等には認定こども園を含む。

幼児児童生徒数・教職員数

令和7年5月1日

区分		公立		国立	合計
		県立	市町村立		
幼稚園等	幼児数	-	1,202	-	1,202
	教職員数	-	451	-	451
小学校	児童数	-	38,841	394	39,235
	教職員数	-	4,129	28	4,157
	生徒数	952	18,963	400	20,315
中学校	教職員数	59	2,213	23	2,295
	児童数 (前期課程)	-	539	-	539
	生徒数 (後期課程)	-	203	-	203
義務教育学校	教職員数	-	51	-	51
	全日制 生徒数	16,336	748	-	17,084
	教職員数	1,720	70	-	1,790
高等学校	定時制 生徒数	630	19	-	649
	教職員数	150	17	-	167
	通信制 生徒数	1,514	-	-	1,514
	教職員数	42	-	-	42
	特別支援学校 幼児児童生徒数	1,680	-	57	1,737
特別支援学校 教職員数	1,090	-	32	1,122	

※市町村立には組合立含む。
※幼稚園等には認定こども園を含む。

幼稚園等～高等学校 R6 (82,626人) → R7 (80,538人)

特別支援学校 R6 (1,706人) → R7 (1,737人)

(出典: 和歌山県教育委員会)

① 我が国の動向と本県の現状

特別支援学級設置校数・在籍児童の推移(小学校:過去10年間)

	知的障害			自閉症・情緒障害			言語障害			肢体不自由			病弱・身体虚弱			弱視			難聴			合計		
	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数
27	179	188	627	137	181	437				19	19	22	5	5	8	5	5	8			198	359	1316	
28	177	186	718	152	181	524				20	20	22	3	3	11	6	6	8			203	365	1285	
29	182	213	796	162	173	604				25	25	25	4	4	5	5	5	7			202	420	1433	
30	179	211	866	169	186	698				26	26	26	8	8	11	5	5	5			202	438	1606	
令和元年度	184	216	897	175	208	826				26	26	28	8	8	9	4	4	4	1	1	1	206	463	1767
2	188	236	973	178	217	840				20	20	22	8	8	9	2	2	2	1	1	1	212	484	1947
3	195	241	1040	187	237	1063				19	19	20	6	6	7	3	3	3			1	214	506	2133
4	193	253	1134	197	260	1170				24	24	28	5	5	5	3	3	3	1	1	1	214	546	2341
5	196	260	1192	199	277	1281				21	21	25	8	8	10	3	3	3	2	2	2	215	571	2513
6	202	277	1234	203	285	1397				19	19	20	14	14	12	5	5	4	4	4	2	215	604	2672
7	201	283	1338	199	300	1470				18	18	18	16	16	17	3	3	3	4	4	4	213	626	2850

「小学校」
 全体 40,611人
 特別支援学級 2,6人
 全体の6,5%

特別支援学級設置校数・在籍生徒の推移(中学校:過去10年間)

	知的障害			自閉症・情緒障害			言語障害			肢体不自由			病弱・身体虚弱			弱視			難聴			合計		
	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	児童数
27	81	84	274	69	70	186				8	8	9	3	3	5						93	165	474	
28	82	87	282	73	74	207				8	8	9	4	4	7						93	173	506	
29	80	88	299	74	77	233				7	7	10	3	3	3						95	179	544	
30	81	88	327	79	81	238				6	6	8	2	2	2	1	1	1			97	178	578	
令和元年度	81	93	348	76	79	254				5	5	6	4	4	4	2	2	2			93	183	614	
2	88	106	393	81	87	298				7	7	7	3	3	3	2	2	2	1	1	1	99	206	704
3	88	109	434	83	93	359				9	9	9	3	3	3	2	2	2	2	2	100	218	806	
4	82	108	430	90	105	419				7	7	7	3	3	3	1	1	1	3	3	4	99	227	864
5	89	111	463	85	111	477				7	7	8	3	3	4	1	1	1	1	1	2	95	235	955
6	85	118	507	83	113	507				7	7	8	3	3	6	0	0	0	1	1	2	96	242	1030
7	88	124	527	85	124	568				8	8	11	2	2	2	0	0	0	2	2	2	94	260	1110

「中学校」
 全体 20,495人
 特別支援学級 1,030人
 全体の5%

(出典:和歌山県教育委員会)

① 我が国の動向と本県の現状

通級指導教室設置校数

小学校設置教室 64教室
 中学校設置教室 19教室
 特別支援学校設置校数 1教室
 合計 84教室

L D設置校
 小学校53教室+中学校19教室

全72教室
 言語設置校 11教室
 特別支援学校 1教室

自校通級 725人
 他校通級 264人
 巡回による指導 40人
 合計 1,029人



① 我が国の動向と本県の現状

第4期 和歌山県教育振興基本計画

第3章 「和歌山らしい教育」へのアプローチ

2 特別支援教育の充実

<めざす姿>

- 障害のある子供を含め、様々な特性や個性のある子供たちが共に学ぶなど、柔軟で連続性のある学びの場が整備され、児童生徒、保護者の選択の意思が尊重されている。
- 一人一人の特性に応じた、専門的できめ細かな指導を受けられる体制が整備されている。

<めざす姿の実現に向けた取組>

- 1 多様な学びの場の提供
- 2 特別支援教育の質の向上
- 3 特別支援学校のセンター的機能の充実



② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(1) 専門性の向上を目指す研修

研修名	受講者数	研修方法	備考
特別支援学級 担当教員研修	紀北79人 紀南65人	事前視聴動画 対面研修(南北開催:年2回) 特別支援教育eラーニング	初めて特別支援学級を担当する教員が対象校種(小・中)
通級指導教室 担当教員研修	全県98人	事前視聴動画 対面研修	通級指導教室を担当している教員が対象校種(全校種)
通常の学級で進める 特別支援教育研修講座	78人	対面研修	選択研修として実施校種(全校種)
特別支援教育 スキルアップ研修講座	28人	オンライン研修	選択研修として実施教職経験3年目以降が対象校種(全校種)

② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(2) 学び続ける教員を支えるために (特別支援学級担当教員研修)

特別支援教育の専門性の向上に係る研修パッケージ



和歌山県教育委員会
Wakayama Prefectural Board of Education

(県) オリジナル動画の視聴研修

教育センター学びの丘
対面研修 (年2回)

インターネットによる講義配信
NISE学びラボ
～特別支援教育のラーニング～
NISE 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

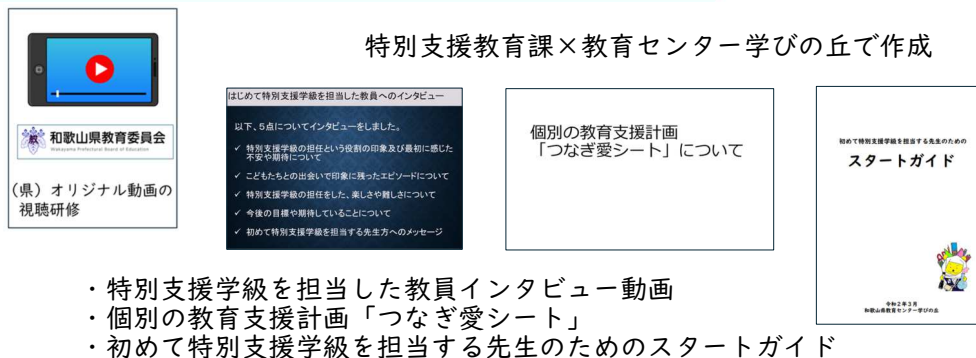
研修プログラムによる
動画視聴研修

② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(2) 学び続ける教員を支えるために (特別支援学級担当教員研修)

特別支援教育の専門性の向上に係る研修パッケージ

特別支援教育課×教育センター学びの丘で作成



和歌山県教育委員会
Wakayama Prefectural Board of Education

(県) オリジナル動画の視聴研修

はじめて特別支援学級を担当した教員へのインタビュー
以下、5点についてインタビューをしました。
✓ 特別支援学級の担任という役割の印象及び最初に感じた不安や困難について
✓ こどもたちとの出会いで印象に残ったエピソードについて
✓ 特別支援学級の担任をした、楽しさや難しさについて
✓ 今後の目標や期待していることについて
✓ 初めて特別支援学級を担当する先生方へのメッセージ

個別の教育支援計画
「つなぎ愛シート」について

はじめて特別支援学級を担当する先生のための
スタートガイド

- ・特別支援学級を担当した教員インタビュー動画
- ・個別の教育支援計画「つなぎ愛シート」
- ・初めて特別支援学級を担当する先生のためのスタートガイド

② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(2) 学び続ける教員を支えるために (特別支援学級担当教員研修)

特別支援教育の専門性の向上に係る研修パッケージ



教育センター学びの丘
対面研修 (年2回)

表面上の行動

目に見えない
氷山の一角

目に見えない
水面下の要素

障害特性
経験、学習など
内的な要因

環境・状況など
外的な要因

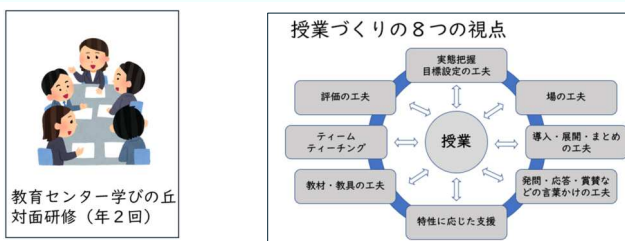
5月開催 (南北に分かれて実施)
「自立活動の指導」
・アセスメントについて
・流れ図を用いた個別の指導計画の作成



② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(2) 学び続ける教員を支えるために (特別支援学級担当教員研修)

特別支援教育の専門性の向上に係る研修パッケージ



教育センター学びの丘
対面研修 (年2回)

授業づくりの8つの視点

実態把握
目標設定の工夫

評価の工夫

場面の工夫

導入・展開・まとめ
の工夫

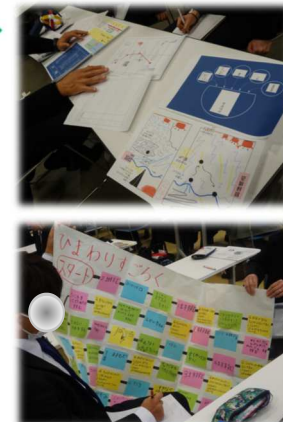
チーム
ティーチング

教材・教具の工夫

発問・応答・質疑など
の言葉かけの工夫

特性に応じた支援

11月開催 (南北に分かれて実施)
「特別支援学級における授業づくり」
・教材の活用について
・教材、教具を持ち寄った実践交流



② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(2) 学び続ける教員を支えるために (特別支援学級担当教員研修)

特別支援教育の専門性の向上に係る研修パッケージ



研修プログラムによる
動画視聴研修

びんしゅう
研修プログラム一覧

共通コンテンツ
受講期間 | 2025年5月9日から2025年11月28日まで

学びを深めるシリーズコンテンツ
受講期間 | 2025年5月9日から2025年11月28日まで

知の継承コンテンツ
受講期間 | 2025年5月9日から2025年11月28日まで

【NISE学びラボ】活用の流れ

- ・6月 2日～ 団体登録
- ・6月 5日～ 個人IDの配布
- ・6月10日～ 学びラボ運用開始

↓




- ・研修プログラムに沿って
動画視聴研修
- ・およそ1か月に1本～2本視聴
- ・視聴修了証明書の発行

・11月 特別支援学級担当教員研修②

「NISE学びラボ」を活用した研修プログラム
 ・担当障害種別に応じた自主研修を推進
 ・安心して特別支援学級を担当するために
 ・オンデマンド教材を通して、学び続けるために


② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(3) 専門性の向上を目指して (初任者研修での取組)




- ・当センターの書籍等を自由時間に閲覧できるような設置
- ・対話に適した座席配置の工夫
- ・受講者とのやりとりを意識した指導主事の立ち位置
- ・効果的な研修を目指し、研修環境を整備

令和7年度初任者研修教職基礎研修⑤ (特別支援学校の部)



② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修


(3) 専門性の向上を目指して (初任者研修での取組)

初任者研修では校種別で行う研修を複数回実施




- ・ICT機器を導入し、アプリを活用した研修を実施
- ・講義を受けた後、しっかりと対話の時間を確保
- ・社会福祉機関と連携した研修の実施

令和7年度初任者研修教職基礎研修⑥ (特別支援学校の部)
 講師：大阪大谷大学 教授 小田 浩伸 氏




② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(3) 専門性の向上を目指して (特定研修での取組)

- ・外部専門家による的確なアドバイス
- ・対面研修において、効果が予想される座席配置
- ・受講者の実態に応じた介入とニーズの把握
- ・受講者が「また受けたくなる」研修を創造

令和7年度通級指導教室担当教員研修
 講師：東京学芸大学 准教授 増田 謙太郎 氏



② 和歌山県教育センター学びの丘 特別支援教育に関する研修

(3) 専門性の向上を目指して（選択研修での取組）



- ・受講者同士で研修を深めるための仕掛けづくり
- ・個人ワークと集団ワークをバランスよく構成
- ・受講者による協議及び対話を深めるための準備
- ・研修と実践の往還に向けた研修材の持ち帰り

令和7年度通常の学級で進める特別支援教育研修講座
講師：大阪教育大学 准教授 庭山 和貴 氏

③ 和歌山県教育委員会の組織的な取組（特別支援教育課との連携）

更なる研修の充実を目指して

はじめて特別支援学級を担当した教員へのインタビュー
以下、5点についてインタビューをしました。

- ✓ 特別支援学級の担任という役割の印象及び最初に感じた不安や期待について
- ✓ こどもたちとの出会いで印象に残ったエピソードについて
- ✓ 特別支援学級の担任をした、楽しさや難しさについて
- ✓ 今後の目標や期待していることについて
- ✓ 初めて特別支援学級を担当する先生方へのメッセージ



研修の充実に向けた連携内容

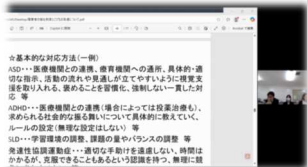
- ・定期的な打合せ
- ・動画内容を検討
- ・学びラボコンテンツ精選
- ・対面研修における運営協力



④ 今後の課題

研修内容の見直しと、新たな学びの場を創造する。

オンライン研修の効果的な組み合わせ



研修後のニーズ調査

研修後、必要とする研修内容	研修後、必要とする研修方法
研修後、必要とする研修時間	研修後、必要とする研修場所

実践発表の導入



実践交流と対話



④ 今後の課題

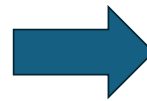
更なる研修の充実を目指して



(県) オリジナル動画の視聴研修



研修プログラムによる動画視聴研修

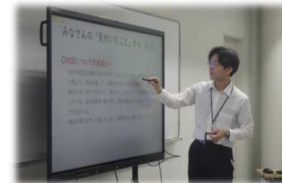


2年目、3年目の教員に向けて

- ・県オリジナル動画は繰り返し視聴できるように設定
- ・学びラボについては、次年度より個人登録の流れを推奨し、学び続ける教員を支援

学びの丘 所内研修（月1開催）

- ・研修観の転換
学校に向けて、現場や教員を主語にした研修づくり
所内に向けて、気付きや変化の得られる対話の実施



⑤ 私たちが目指すところ

多様なコンテンツを活用する。また多様なコンテンツの開発を続ける。

国立特別支援教育総合研究所
報告書・資料

初めて通級による指導や特別支援学級を担当する先生へ
国立特別支援教育総合研究所作成
特別支援教育について学習機会が
なかなか得られなかった先生へ

授業づくりについて知りたい
国立特別支援教育総合研究所作成
知的障害特別支援学級担任
のための授業づくりサポ
ートキット（小学4年級）
すけっと

特別支援教育リーフシリーズ
A advance
B basic
C case studies

和歌山県教育センター学びの丘
特別支援教育資料

自閉症・情緒障害特別支援学級に
おける授業づくり3つのポイント

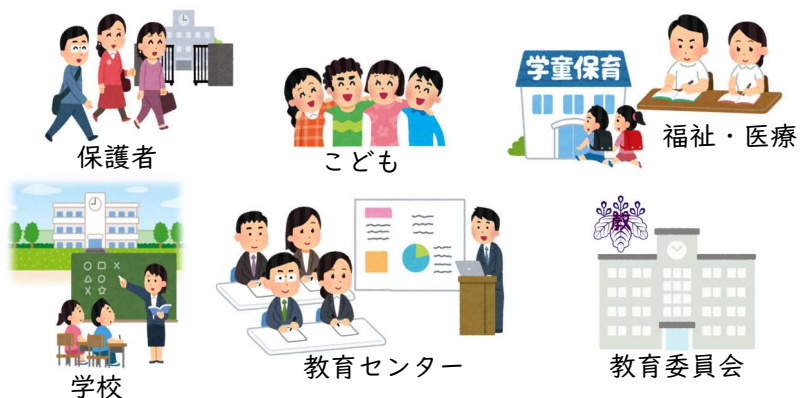
初めて特別支援学級を担当する
先生のためのスタートガイド

初めて特別支援学級を担当する
先生のための自立活動の指導

⑤ 私たちが目指すところ

研修内容の見直しと、新たな学びの場を創造する

2 他機関との更なる連携の強化～自ら発信する～



⑤ 私たちが目指すところ

研修内容の見直しと、新たな学びの場を創造する。

1 受講者及び学校状況の把握



学びの丘 所内研修イメージ図



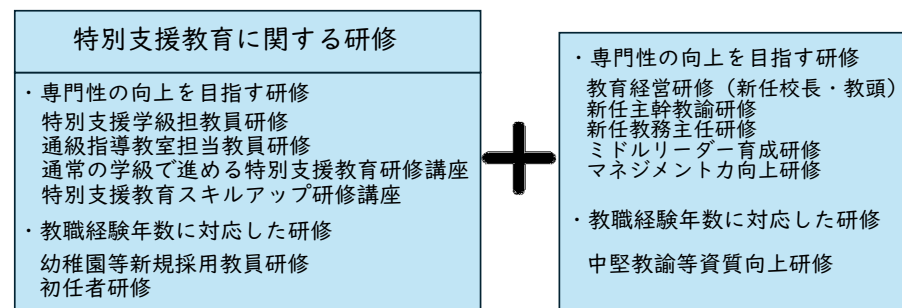
【研修主催者側として大事にしていること】

- ・受講者をよく理解し、学び手を主語とした研修を展開
- ・学校や地域の文化、特色を視野に入れることを重視
- ・教員に加え、こども、保護者のニーズも把握

⑤ 私たちが目指すところ

研修内容の見直しと、新たな学びの場を創造する

3 全ての教員が特別支援教育について学ぶ必要性



全てのこどもに豊かな教育を

ありがとうございました

